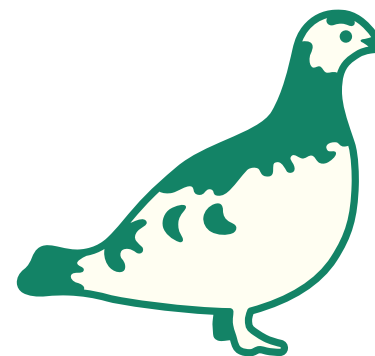


山を見 て、

山に登り、山を愛するあなたへ。



南アルプス自然環境保全活用連携協議会



南アルプスの生態系を取り戻す活動は、山小屋の皆様、ボランティア、
周辺の研究機関など、さまざまな関係者のご協力で成り立っています。



環境省

発行元：環境省関東地方環境事務所

〒333-9720 埼玉県さいたま市中央区新都心1番地1
さいたま新都心合同庁舎1号館6階



南アルプス国立公園

問い合わせ：環境省南アルプス自然保護官事務所

〒400-0293 山梨県南アルプス市芦安芦倉518番地
南アルプス市芦安支所2階
TEL 055-280-6055

あなたは、
山に登るときに、
何をみますか？

南アルプスに登ると、
重厚で雄大な
山岳風景を望めます。

ブナ、コメツガ、シラビソ、
ダケカンバなどの
多様な樹木による深い森。

隆起と多雨により
侵食がすすむ
V字谷や崩壊地。

森林限界を越えると、
はるか遠くまで延びる稜線に、
丸みを帯びた谷のカーブ。

生き物との出会いも、
登山中の楽しみです。

一面に広がるお花畑に、
ふと目の前に現れるライチョウ。

足元に目を向ければ、
可憐な花を咲かせる高山植物。

南アルプスに登ると、
ここにしかない生き物を
見ることができます。

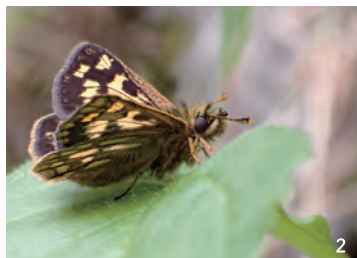
しかし今、
その自然に異変が起きています。



山を、
見て。



1 ライチョウ - 南アルプスは世界的分布の南限



2 タカネキマダラセセリ赤石山脈亜種 - 南アルプスの固有亜種

LOOK!

動物を、
見て。

お花畑や固有の
高山植物は？



荒川前岳南東斜面のお花畑

LOOK!

植物を、
見て。

かつて一面に広がっていた
「お花畑」。氷河時代の遺存種
や南アルプスのみに生育する
固有種は年々見られなくなっ
ています。



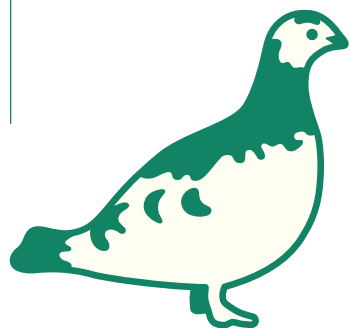
1 タカネマンテマ - 南アルプスの固有種



2 サンブクリンドウ - 南アルプスと八ヶ岳の固有種

高山に生息する動物は、高山植物を食べたり
棲み家として利用したりしています。
南アルプスのライチョウは、1980年代の
約700羽から2000年代には約300羽へ
減少したと推定されています。
お花畑で優雅に舞っていた高山蝶は、今では
ほとんど見ることができません。

ライチョウや高山蝶は？



「種の保存法」に基づき、「国内希少野生動植物種」に指定される
南アルプスの動植物は、毎年増加しています。

LOOK!

地表を、見て。

植生や土壌は？

地表を覆う植物が減り、土壌がむき出しになっています。こうした場所で雨が降ると、土壌流出や土砂崩れが起きやすくなります。



鳳凰三山の地蔵岳では、地表面の植生が消失し、土壌流出が起きています。

1986年



坂東明文 撮影

2013年



静岡県 撮影

2021年



静岡県 撮影

かつての北荒川岳は、ミヤマシウドやミヤマキンボウゲが優占する多様性豊かなお花畑が広がっていました。

やがてこれらの植物が見られなくなり、マルバダケブキが広がる単調な植生になりました。

近年では、マルバダケブキも食べられ、芝生のような状態になっています。

異変はいつから？

なぜ？



こうした自然の異変は、1980年代まで見られませんでした。

なぜ、お花畑が見られなくなり、固有の動植物が絶滅の危機にさらされているのでしょうか？

なぜ、希少な生命を支える植生や土壌が失われるようになったのでしょうか？

山を、見て。

山を、
見て。

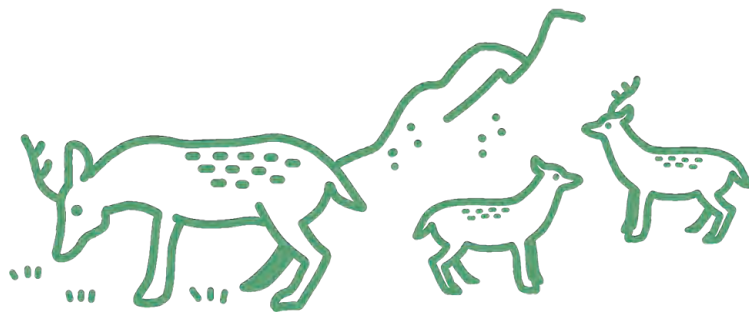
・好き嫌いがはっきりしているので、
残った植物に偏りが出てくる。

・南アルプスでは成獣の体重は、
最大でメスは75kg、オスは95kgにもなる。
大きな体を維持するためにたくさん食べる。

・大食漢で、食べる植物の量は3~5kg/日。
反芻と4つの胃で効率的に栄養を吸収する。

・食べ物が減ると、これまで食べなかった
植物や落ち葉まで食べてしまう。

・繁殖力が強く、メスは1歳から
繁殖に参加し、ほぼ毎年1頭出産する。



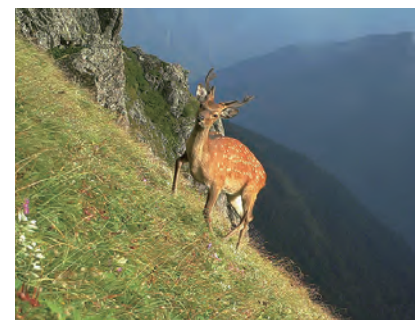
ニホンジカは、
すごく植物を食べ、
すごく増える。

ニホンジカ *Cervus nippon* は
偶蹄目シカ科の大型草食動物です。
こんな特徴があります。

LOOK!

原因を、
見て。

異変の原因は、
ニホンジカでした。



荒川岳の標高2,907mで撮影されたニホンジカ

南アルプスの高山の自然は、過去
にニホンジカの影響を受けていま
せんでした。しかし、1990年代末
から、ニホンジカによるお花畑への
影響が見られ始め、拡大・深刻化し
ています。

< ニホンジカの食痕 >



樹皮



オヤマリンドウ

< ニホンジカの足跡 >



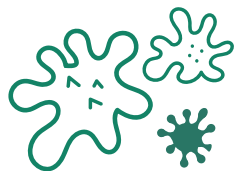
山に登り、よく目を凝らすと、ニホンジカのふんや足跡、食痕が見られるはずです。

山を、
見て。

ニホンジカが 生息すると、 こんな影響も。

■感染症の

リスクが増える。



マダニはライム病、日本紅斑熱、SFTSなどの感染症を媒介することが知られています。ニホンヤマビルは、日本紅斑熱を媒介する可能性があります。

■ヒルが増える。



近年、日本各地で吸血被害が増加しているニホンヤマビル。その主な宿主動物はニホンジカです。ニホンジカが増えると、ニホンヤマビルによる被害も増えると考えられています。なお、ニホンジカがいない地域ではカエル類が主な宿主になることがわかっています。

■マダニが増える。

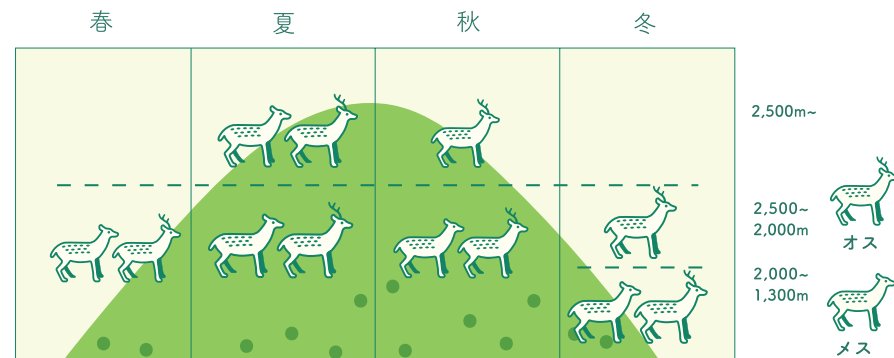


ニホンジカの密度が高い地域ほど、マダニが多いことがわかっています。噛まれたことに基づきにくいため、登山をするときには十分な注意が必要です。

ニホンジカが、 南アルプスに登る訳。



ニホンジカは、夏に体脂肪を蓄え、冬に消費します。栄養価の高い植物や安全に出産する環境を求め、夏の活動範囲には執着が強いことがわかっています。



センサーカメラでニホンジカの成獣が撮影された季節と標高

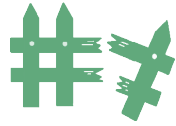
気温の低い高山では夏に栄養価が高い若葉が多く、これを求めて高山に登るようになったと考えられています。南アルプスに登るニホンジカの活動範囲の高低差は1,100mもあり、世界的に例がありません。

●予防策として、極力肌を露出しないことや、マダニにもヒルにも効果があると言われている「ディート」を含む虫除け等を使うことをおすすめします。



造成地がエサ場に。

林道の法面や麓の造成地には外来の牧草が導入され、ニホンジカが冬でも食べ物を得られる環境になっています。



人がいなくなった。

中山間地の過疎化などにより耕作放棄地が拡大し、草地に代わるニホンジカの新しい生息地となっているのです。



雪が降らなくなった。

50cm以上の雪が積もることで、ニホンジカの活動や採食が困難になると言われています。地球温暖化の影響により積雪が減ることで、厳しい冬を生き延びることができ、生存率が上がっているのです。



かつて「減らしてはいけない」規制だった。

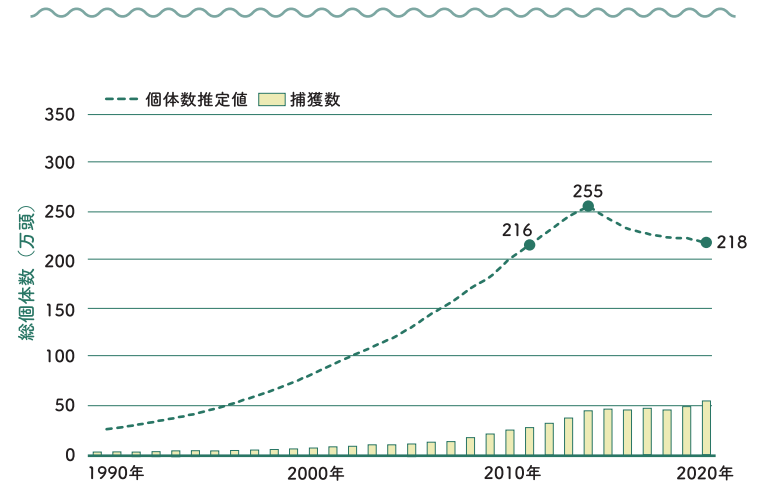
ニホンジカは明治時代に乱獲によって激減したため、2007年までメスは禁猟とされていました。しかし、さまざまな要因が重なり、増加に転じてしまったのです。



天敵がいなくなった。

かつてのニホンジカの主な捕食者であったニホンオオカミは、駆除政策によって絶滅したとされています。また、狩猟者が減少し高齢化していることで、ニホンジカにとって過ごしやすい環境になっているのです。

ニホンジカが増えた原因は、私たちの生活にありました。



ニホンジカ(本州以南)の個体数推定の結果

ニホンジカの推定個体数は、2014年をピークに減少しています。一方で、南アルプスでは依然としてニホンジカによる影響が拡大しています。

そもそもなぜ、ここまでニホンジカが増えてしまったのでしょうか？
ニホンジカが急激に増えた原因はさまざまですが、次のようなことが考えられています。



LOOK!

人の暮らしを、見て。

目指すのは、もとの生態系に戻すこと。

みんなで行っている、さまざまな取り組み



■ 守ること

山小屋やボランティア等の協力を得て、防鹿柵ぼうろくさくを設置し、お花畑や希少な高山植物をニホンジカの食害や踏み荒らしから保護しています。



■ 減らすこと

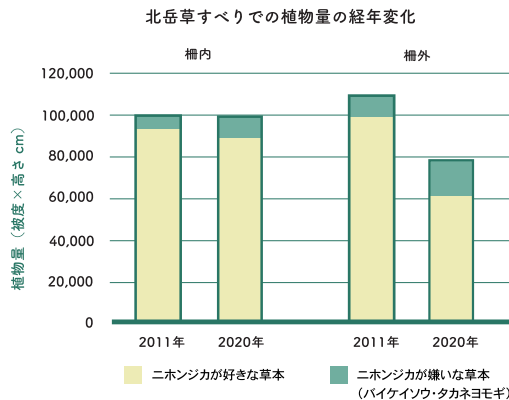
夏に高山に移動するニホンジカを減らすために、お花畑付近や移動途中の林道、低山の越冬地等で捕獲を実施しています。



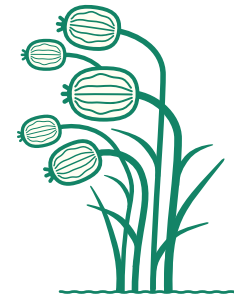
■ 調べること

被害の状況や対策の効果を調べるため、センサーカメラを設置してニホンジカの生息状況等を把握したり、植物の生育状況を調査したりしています。

北岳草すべりでは2011年に、ニホンジカの影響を受ける前のお花畑に柵を設置し、柵内ではほぼ同じ環境を保っています。柵外では、植物量は減少し、ニホンジカが嫌いな草木の割合は増加しています。



南アルプスが美しく 豊かであり続けるために。



命を繋いでいく。
本来の自然を取り戻し、
そのためには、
どうしたらよいのか？

人の手でこそ、
できることがある。

南アルプスユネスコエコパークを構成する自治体、南アルプス国立公園を管理する環境省、土地所有者でつくる南アルプス自然環境保全活用連携協議会では、「ニホンジカの影響が及ぶ前の1980年代の植生を目安として、南アルプス国立公園の生態系の保全を図る」ことを目標に、必要な取り組みを行っています。

山を見て。

■より深く、楽しく知る。

・南アルプス市芦安山岳館

山岳文化と貴重な自然のミュージアムです。
〒400-0241 山梨県南アルプス市芦安芦倉1570



・ユーチューブ「みんなの南アルプス」 「10ch 南アルプスユネスコエコパーク」

静岡県自然保護課による南アルプスの魅力をお届けするユーチューブチャンネルです。



■より間近に、五感で知る。

ニホンジカの狩猟体験や、調査体験が出来るツアーやイベントがあります。



南アルプス 邑野鳥公園 提供



「山に登る人」は、
「山を守る人」です。

南アルプスの山に登る

あなたにも、

出来ること

お願いしたいこと

があります。

カントリーコードを守って
登山を楽しんでください。



ゴミを捨てないでください。



花や植物を採らないでください。



記念看板の設置や岩などへの落書きはしないようにしましょう。



ペットの持ち込みはご遠慮ください。



登山道はずれての歩行や写真撮影は行わないようにしましょう。

先の尖ったストックは危険です。使う場所を考え、ゴムキャップの利用を心がけましょう。



山小屋、避難小屋などの施設はみんなできれいに大切に使いましょう。

山を見て。

山を見て、
自然とともに生き、
あなたの人生を豊かに。

ここまでお読みいただき、
ありがとうございます。
次にあなたが
南アルプスの山を登るとき、
何が見えるでしょう。
登山をする皆さんこそ、
南アルプスの自然を愛する
心を持っています。
もしよければ、
この問題の解決に向け、
出来ることを
行動に移してみてください。

■山の恵みを登山中にも。



鹿肉は牛肉や豚肉に比べて、多く鉄分を含み、高タンパクで低脂肪。ヘルシーで、登山者にとっても良い食材です。
仙丈ヶ岳の「馬の背ヒュッテ」と、塩見岳から三峰岳の間にある「熊の平小屋」では、鹿肉を使用した料理を提供しています。小屋番さんに、提供する想いを聞いてみるのもいいかもしれません。



馬の背ヒュッテ
オリジナル夕食「山の恵 鹿肉カレー」

ふるさと納税で、
南アルプスの生態系を守る取り組みを
支援できます。

静岡県へのふるさと納税

「南アルプスユネスコエコパークの保全管理と魅力発信等」

高山植物を保護するための取り組みや、その魅力を国内外に発信するための取り組み等に活用されます。

静岡市へのふるさと納税

「南アルプスの豊かな自然を守ろう！」

世界南限のライチョウなど希少な動植物を守るための調査や、高山植物を鹿の食害から守る防鹿柵設置や豊かな森づくり、情報発信等に活用されます。

■寄付で、活動を支援。

